

週間感染症情報

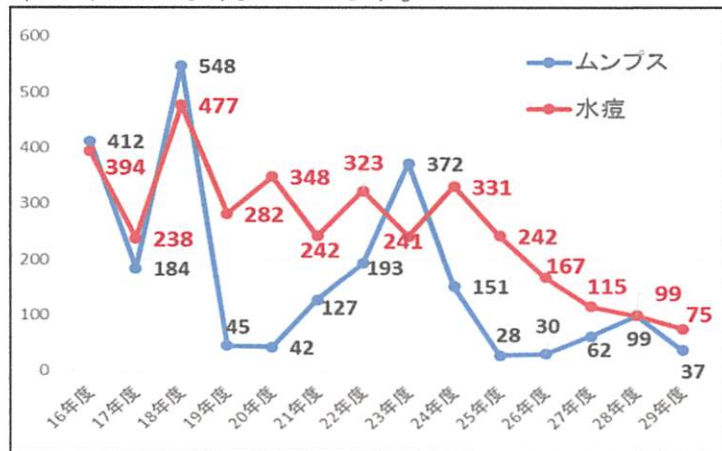
2018年15週 2018年4月9日より2018年4月15日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	11
手足口病	
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	33
ロタウイルス(再掲)	3
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	7
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	3
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	23
インフルエンザA	9
インフルエンザB	13
ヒトメタニューモウイルス	2

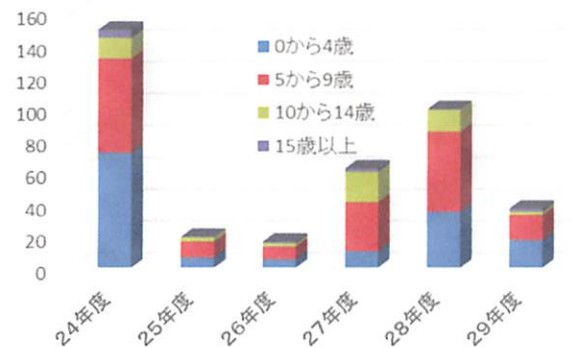
遅くなりましたが15週の報告です。花粉症や感冒の患者さんが増えました。

インフルエンザは23例でした。インフルエンザBは市内の保育園関連が家族を含めて9例でした。クラス内の流行は終息したようです。この園では、今シーズンインフルエンザの流行はありませんでしたので、クラス内流行が起きました。また、輸入感染症としてのインフルエンザAの施設内流行もありました。外国人の来日も増え、連休で海外旅行に行かれる方も多いと思います。発熱などで受診された場合は、渡航歴を問診する事が大切です。

沖縄の麻疹流行が話題になっていますが、アジア、アフリカヨーロッパなどでも麻疹の流行があります。ワクチンで予防できます。29年度のムンプス・水痘の報告数は、下のグラフのように、ムンプスが37例、水痘が75例でした。ワクチン接種の効果が顕著に現れています。ともに、ワクチン接種率の高い0～4歳児での患者数が大きく減少しています。特に、ムンプス4～5年毎の流行の山が目立たなくなっています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)



上はムンプス、下は水痘の年齢階層別報告数

